



『新年に思うこと』

団長 大森利治

いやはや時のたつのは早いもので、今年も一カ月が過ぎようとしています。今まさに厳寒の最中にあります。どうぞ皆様にはご自愛頂き、この一年元気にご活躍頂きたいと念じております。

さて、これからしばらく私の今年の初夢ならぬ、他愛のない初「独り言」にお付き合いください。

『“Freude” この言葉の意味はなんですか、と先生によく問われる。応える方は声高には言葉を発しない。なぜか？ “Freude/歓喜” これは全身で表現するものだから、とこれからそんな風に応えられないかなあ。そう年末のお客様のアンケートにもおほめの言葉が多数寄せられていたように、日頃の先生方のご指導と皆さんの努力の結果、我が団は大変成長してきていると思うから。しかも、13年も第九を歌ってきたのだから、そう云えるようになっていても可笑しくないと思うよ。

私の好きなサミュエル・ウルマンの「青春」の詩の中に次のようなくだりがある。

青春とは人生のある期間を云うのではなく心の様相を言うのだ・・・

年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る・・・

人は信念と共に若く 疑惑と共に老いる

人は自信と共に若く 恐怖と共に老いる

希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる

私達の合唱団は年を重ね、「素晴らしいハーモニー」という理想を追っているから団の老いはまだまだ見られない。そして、団員の皆さんは雨の日も風の日も怠け心に打ち勝って練習を重ねてこられた実績は、強い信念を生み、自信を育んできたと思う。だから、だから「歓喜」を全身で表現しようと思えば出来るレベルにあると思うのだ。やろう、出来ないなんて云わないで、恐怖なんて微塵もないはずだから。希望を持って新生「ひらの混声合唱団」のますますの成長を成し遂げたい。』（お付き合い有難うございました。）

今や全国どここの合唱団でも人材不足は否めない状況にあります。私達も然り。そんな時、手をこまねいていても仕方ありません。これからは数年かけて団の活性化と団員の増強を旗印に、今年から“新生”と呼べるようにしたいと考えています。

これからの方針

これまで3回を数えた「大阪市コミュニティ合唱祭」と年末の「平野区クリスマスコンサート」は既に私達の活動の定番になっています。前者からは合唱団の未来の姿を描けと教えられ、後者からは地域に密着した活動という使命を教えられてきました。さらに新しい試みとして私たちは、団の活性化を図り、個性ある合唱団に育て上げる目的で、年の前半に私達の個性を発揮できるコンサート“ひら混ジョイ・コーラス”を開催し、定番となるよう力を尽くして参りたいと思っています。“ひら混ジョイ・コーラス”は聴衆とのジョイントや、ゆくゆくは平野区他のコーラスグループの参加もあるイベントに仕上げたいと思います。この内容については試行錯誤を重ね、回を追うごと脱皮して素晴らしいイベントへと発展させていくようにと未来像を描いています。また、年末の第九は広く門戸を開き、地域や他の合唱団の第九を歌いたい人達の参加を念頭に置いて臨みたいと考えています。どうか、これらの点に関し皆様方の忌憚のないご意見、ご希望をお寄せ頂くようにと願っています。



クリスマスコンサート



昨年12月19日(木)、ひらの混声合唱団のメインイベントであるクリスマスコンサートを盛況に無事終えることができました。これも団員の皆さんの練習の成果のたまものです。開演に先立ち、平野区長藤井様よりご挨拶をいただきました。大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会をはじめ、助成・共催・協賛いただいた団体やお世話になりました皆様、また賛助出演いただきました皆様に感謝いたします。



延原先生のオーボエ演奏は大好評でした！



Program

G.F.ヘンデル:オラトリオ「メサイア」HWV56より

ひとりのみどりごが… For unto us a Child is born
 主は羊飼として… He shall feed His flock like a shepherd
 主の轡(くびき)は負いやすく… His yoke is easy, His burthen is light
 ハレルヤ Hallelujah

アヴェ・マリア特集

J.アルカテルト : アヴェ・マリア
 J.S.バッハ=C.F.ツノー : アヴェ・マリア
 G.カッチーニ : アヴェ・マリア

～ 休憩 ～

指揮者コーナー(会場のお客様がオーケストラの指揮者に！)

L.v.ベートーヴェン:交響曲第9番 短調 Op.125「合唱付」より「第4楽章」

＜クリスマスキャロル＞

- 語入こぞりて
- 牧羊羊を
- きよしこの夜

★ 指揮・オーボエ : 延原 武春
 ★ ソリスト : ソプラノ/藤田 瑞穂 アルト/菊谷 佳苗
 テノール/中塚 昌順 バス/林 康宏
 ★ 管 絃 楽 : テレマン室内オーケストラ
 ★ 合 唱 : ひらの混声合唱団

クリスマスコンサートに参加して

旭区民合唱団リリオ 杉田信博

私はベートーヴェンの第九「合唱」を歌うことにはあまり執着は無いのですが、平野の第九はテレマン室内オーケストラの演奏で歌えるので、楽しみに参加させていただきました。私には現代的な大オーケストラと大合唱団による第九は、少し威圧的で心から共感、感動できない面があるのです。リハーサルの時から私の望みどおりの第九で、本番では本当に感動に震えながら歌わせていただきました。演奏し終わったときには少し涙ぐんでしまいました。

ヘンデルはイギリスでは国民的音楽家で、エディンバラからロンドンへ旅したとき多くの都市でヘンデルの胸像を目にし、大英図書館ではスコアを見ることができました。皆さんのメサイアを聴いていると、ヘンデルの人間像が浮かび上がるような美しさ楽しさが伝わって来ました。ヘンデルはとても人間的な作曲家で、現代人の感性にも触れる豊かな音楽を創造したのだと改めて感じさせられました。素晴らしい演奏でした。舞台衣装も素敵でした。そしてアヴェ・マリアのなんと美しかったこと...

次は、大阪市コミュニティ合唱隊で知り合った他団の方のご感想です。お互いに刺激を受けて励みになればいいですね。

お誘いいただきありがとうございます！大変楽しくて素敵なクリスマスコンサートでした。第九、すばらしくて興奮しました。13年の歩みが伺われる厚みのあるハーモニーで、プログラムも良かったです！いろいろなアベマリア、しかも解説つきで！延原先生、味のあるすてきな方ですね！テレマンの演奏、聞き惚れました。昨日は開場前についたのですが、すでにすごい人の列でした。皆さん、毎年楽しみにされているのでしょうか。私もぜひ来年も伺いたいなあと思いました。私の合唱団では新しい曲を練習し始めたところですが、ひらの混声合唱団のクリスマスコンサートを聴いて、改めてレベルアップできるように頑張ろうと思いました！またお会いできる日を楽しみにしております。



吉原さん、毎年キャンドルの飾りつけをありがとうございます



「メチャメチャ振ったった！」の言葉にオーケストラの皆さん、大爆笑



男性コーラスの初発表3月にあります。

クリスマスコンサートの先生方の評

- ・ 練習は嘘をつかない
今までリハが良くても本番は悪かったが、今回は本番のが良かった。
暗譜の大事さを皆さんわかったようだ。
出だしの大事さを感じてもっと練習したらよい。
- ・ 向上心が大事
- ・ 音程が下がる (特に同じ音をのぼすとき・上げるつもりで)
- ・ 発音、特に子音をはっきり短く発声すること
- ・ ヴォイストレーニングは大事



会場の皆さんと共に歌うクリスマスキャロルも楽しみです♪

お客様の声 (アンケートより)

- ♪ 合唱団も年々上手になられ、レパートリーも増え、衣装替えもあり、素晴らしかった！
延原さんのシャベクリの上手さとオーボエは優しく体に染み渡った。毎回お聴きしたい。
今回は指揮者コーナーも個性とりどりで笑わせて頂いた。ありがとうございます。
皆様のこれからのご活躍をお祈りします。元気を頂きました。
- ♪ 今回の選曲は大変良かったです。ハレルヤ、第九4楽章は毎年お願い致します。
- ♪ G.カッチーニ、シューベルト 涙が出そうでした。素晴らしいです。
- ♪ 特に声楽で聴くカッチーニと違ったオーボエ演奏、心に深く感じいました。
- ♪ コンサートホールで聴いてみたいです。
- ♪ 笑顔で歌えばもっと素敵に。
- ♪ 今少し一般向きの曲があっても良いと思う。
- ♪ 曲の説明もあって、楽しいひと時を過ごせました。88歳の母によいクリスマスプレゼントができました。
- ♪ 指揮者体験楽しかったです。

新春懇親会



平野区民ホール 瀬崎館長

あけましておめでとうございます。昨年のクリスマスコンサート、盛大に開催させていただきまして非常に良かったと主催者から聞いております。音楽というのは「音を楽しむ」と書きます。声を出して歌うことは健康にも繋がりますし、精神的な癒しにもなると思います。コンサート後のアンケートでは「年々上手くなっている。」「次回も期待している。」という声が多く見受けられました。団員の皆さん、これからも音を楽しみながら活動していただきたく、ますますのご活躍を期待しております。



藤田先生

皆様、あけましておめでとうございます。今年もまたよろしくお願ひいたします。今年は今までになく、3月にコンサートを企画され実行に移すことになりました。今日だけのんびりしてもらって、来週からはしっかり勉強モードで励んでいただければと思います。また新しい曲をいろいろ考えておりました、コンサートにお越しいただいたお客様に、「おもしろかったわ。」「良かったよ。」と言うお声をたくさん聞かせていただければいいなと思っております。今年が一番の目標は先ず健康、二番目の目標は自分より一日でも若い人を団に引き寄せて入団してもらおう、とします。頑張っていきましょう！



坂野さん、担当を問わず
お世話になっています



渥美さん、ありがとう
ございました



黒川さん、喜寿を迎えられおめでとうございます。
何とお若い！網井さん、団への復帰をお待ちしています！



リリオの山田さん、
ありがとうございました

“ひら混ジョイ・コーラス”演奏会のお知らせ

開催日：2014年3月15日（土曜日）

場所：平野区民センター

（コミュニティプラザ平野）

このコンサートは我々団員が、また、観客が同じように楽しめ、合唱したくなるような、そして平野区の歌を愛する人々を通じて音楽文化の向上を目的として、(一財)大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会の自主事業としての位置づけの元、実施するものです。演奏曲目は、

♪混声合唱では、春夏秋冬の日本の歌として、『日本の四季の歌(中田喜直)』より、「早春賦」、「夏の思い出」、「雪の降る街を」、「朧月夜」より、「里の秋」、「砂山」、聴衆の皆様が親しみのある曲として、「アヴェ・マリア(バッハ/グノー)」、「ハレルヤ」、映画『サウンド・オブ・ミュージック』のサウンドトラックより、「エーデルワイス」、「ドレミの歌」を日本語で歌います。

また、今回初挑戦の♪男声合唱ステージでは、「いざ起て戦人よ(グラナハム)」、「フィンランディア(シベリウス)」、「はるかな友に(磯部俣 作詞・作曲)」の3曲を披露します。いずれも、男声合唱定番曲です。

さらには、観客との一体感を共有するため、観客と一緒に歌うコーナーも用意しました。これを機に合唱の魅力にはまり、「歌ってみたい」という方がより多く現れ、入団していただけることを期待しております。

～ 編集後記 ～

団だより作成にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。今までとは一味違う、個性、観客との融合、男声合唱という新たなテーマに挑戦する“ひら混ジョイ・コーラス”をまずは成功させましょう。今年は、ひらの混声合唱団の新たな1ページとなる飛翔の年にすべく、皆さんガンバッてまいりましょう。

(後藤・萩原)